



前進

育てたい力：共感力・探究力・協働力

◎2学期がスタートしました。

9月1日（金）は、芦北町の小学校の始業式でした。佐敷小学校の子供たちは大きなけがや病気、事故等もなく元気に始業式を迎えることができました。

学年代表の6人の子供たちは、夏休みの思い出と2学期に頑張りたいことを堂々と発表しました。

私からは2学期の目標として「話をしっかり聞こう」「『わかるまで』にこだわろう」の2つの話を

しました。「聞く力」は佐敷小の子供たちの課題の一つです。先生の話、友だちの話などを理解しながら最後までしっかり聞くことを全校で目指します。また、学習は積み重ねが大切ですので、授業で「わからない」ことがあったら先生や友だち、お家の方に聞いたり家庭学習で定着させたりしながら力を付けていきたいと思います。2学期は運動会を始め修学旅行、音楽発表会など様々な行事が目白押しです。子供たちにとって充実した2学期になるよう、全職員で協力して取組を進めていきます。



◎4年ぶりのチャリティバザー

新型コロナウイルスの影響で3年間実施できなかったチャリティバザーを、9月8日（金）に4年ぶりに開催しました。

「カンボジアに学校を建設しよう」を目標にスタートしたチャリティバザーは、佐敷小学校の伝統となっています。今年度は余剰品バザーは家庭教育部にお願ひし、2年生以上のそれぞれのクラスがみんなに喜んでもらえるスペースを設け、募金していただく形式にしました。

新型コロナウイルスの感染状況も気になったので広く宣伝は行いませんでしたが、当日は園児、保護者・ご家族の方々が、たくさん訪れて



くださいました。それぞれのクラスで工夫されたスペースには、マッサージ、迷路、読み聞かせなど子供たちが考えた様々な趣向が凝らしてありました。参加された方から「子供たちの表情が生き生きしていました。」「こちらも元気をもらいました。」といった声をいただきました。園児も「楽しかった。」と笑顔で帰って行きました。放課後子供教室で子供たちがつくった作品や岩永醤油さんにご協力いただいた4年生の味噌玉はたくさん売れ、保護者の方からご指導いただいた2年生のマッサージも大好評でした。多くの方にご協力いただき、感謝しています。今年度の反省を踏まえ、来年度以降もよりよいチャリティバザーになるように取り組んでいきたいと思いをします。

◎芦北町の伝統芸能について学びました。

9月12日（火）に、花東公民館長の芥川様、宮浦公民館長の上村様に来校いただき、獅子舞と棒踊りについてそれぞれお話をいただきました。4年生の総合的な学習の探究テーマの一つに「芦北町の伝統芸能」があり、今回来校いただきました。それぞれの伝統芸能の由来、これまで地域で受け継がれてきたこと、後継者不足の悩みなど、参考になるお話をたくさん伺うことができました。芦北に伝わる伝統芸能への思いを熱心に語っていただき、興味をもつ子供もいたことと思いをします。



◎子供たちの睡眠時間、大丈夫ですか。

9月7日（木）、芦北町健康応援メニューで6年生対象に芦北町役場健康増進課から来校いただき、「子供たちの睡眠時間」について講話をしていただきました。子供たちが正直に書いた生活サイクル表からは、睡眠時間の少なさが浮き彫りになりました。特にゲーム機やスマートフォン、タブレットを自由に使う子供は、保護者が考えておられる以上に睡眠時間が少ないようです。子供たちの成長に大変重要な毎日の睡眠ですので、状況をしっかり把握し適切な指導を行っていただくようお願いします。

【校長室から】9月9日（土）のPTA奉仕作業は、朝早くから参加いただき、本当にありがとうございました。草刈りや野草の除去、軽トラック等での運搬など、分担して行っていただいたおかげで、校内が見違えるように美しくなりました。運動会に向けて、子供たちの意欲も高まると思います。毎日暑い日が続いていますが、熱中症に気をつけながら練習も行っていきます。